



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社ミクリード 上場取引所 東
 コード番号 7687 URL <https://corp.micreed.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 礼子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 石井 文範 TEL 03 (6262) 5176
 四半期報告書提出予定日 2020年7月31日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	508	-	△66	-	△66	-	△43	-
2020年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△20.62	-
2020年3月期第1四半期	-	-

(注1) 当社は、2020年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の数値および2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

(注2) 2021年3月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,236	925	74.8
2020年3月期	1,418	975	68.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 925百万円 2020年3月期 975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	13.62	-	3.51	-
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	-	-

(注) 2021年3月期の配当予想については、現時点で業績予想の算定が困難であるため未定とし、可能となった時点で速やかに公表します。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

当社顧客である飲食店は、緊急事態宣言や休業要請、外出自粛等により、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けてきました。緊急事態宣言解除後は飲食店の営業も回復基調となってきてはありましたが、足元の新型コロナウイルス新規陽性判明者急増を受け、先行き不透明感が非常に強まってきていることから、今後の業績に影響を与える未確定な要素が極めて多くなっており、現時点で2021年3月期の業績予想算定が困難であると判断し、未定とします。今後、業績予想が算定可能となった時点におきましては、業績予想を速やかに公表します。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,113,600株	2020年3月期	2,108,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	—株	2020年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,110,066株	2020年3月期1Q	—株

(注) 当社は、2019年12月3日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期末自己株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(会計上の見積りの変更)	5
(セグメント情報等)	5
3. その他	5
継続企業の前提に関する重要事象等	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う緊急事態宣言、外出自粛要請、休業要請などから、極めて厳しい環境が続きました。

このような環境のもと、当社は業務用食材通販のパイオニアとしてお客様の日々の厨房を支えると共に、厳しい環境に立たされている飲食店の皆様のお力になれるよう、送料無料となる購入金額基準を従来の6千円から3千円に引き下げることで、小口発注を行いやすくすると共に、お客様の食品ロスの可能性を低減できるようにするなど、お客様を支える活動を継続してまいりました。

これらの取り組みの結果、6月にご購入頂いたお客様の店舗数は前年6月比で100%まで回復するなど、当社事業のベースとなる顧客基盤の維持に成功しております。ただし、お客様が1ヶ月に当社から購入する量は前年同月並みには戻っておりませんので、売上高の前年同月比を月別で見ますと、4月は前年同月比67.2%減の32.8%、緊急事態宣言が解除された5月は55.7%減の44.3%、顧客店舗数は前年同月並みまで戻った6月は26.8%減の73.2%となっております。

以上の結果、当社の当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高508百万円、営業損失△66百万円、経常損失△66百万円、四半期純損失△43百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は974百万円と前事業年度末に比べ197百万円減少いたしました。これは新型コロナウイルス感染拡大に伴い、6月の売上が3月比で大きく減少した結果、売掛金が104百万円減少したこと、税金支払いおよび赤字などにより現金及び預金が78百万円減少したことなどによるものです。

(固定資産)

固定資産は261百万円と前事業年度末に比べ16百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が23百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は1,236百万円となり、前事業年度末に比べ181百万円減少いたしました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は298百万円と前事業年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは新型コロナウイルスの感染拡大などから5月および6月の売上が減少したことに伴い、この期間における仕入も減少し、買掛金が87百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は12百万円と前事業年度末に比べ0百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は311百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は925百万円と前事業年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは赤字および配当支払などにより利益剰余金が50百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う緊急事態宣言、外出自粛要請、休業要請などから、当期の業績予想を未定としておりました。その後、緊急事態宣言および各種要請は解除されたものの、足元において新型コロナウイルスの新規陽性判明者急増などから、先行き不透明感が極めて強くなっておりますので、引き続き業績予想は未定とし、業績予想が算定可能となった時点で速やかに公表します。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	601	523
売掛金	434	329
商品及び製品	130	114
原材料及び貯蔵品	2	0
前払費用	6	8
未収入金	2	0
その他	0	2
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	1,172	974
固定資産		
有形固定資産	26	26
無形固定資産		
ソフトウェア	180	173
無形固定資産合計	180	173
投資その他の資産		
破産更生債権等	0	0
繰延税金資産	5	28
その他	33	33
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	38	61
固定資産合計	245	261
資産合計	1,418	1,236
負債の部		
流動負債		
買掛金	300	213
リース債務	0	0
未払金	86	77
未払費用	1	1
未払法人税等	27	—
未払消費税等	10	—
預り金	2	3
賞与引当金	0	0
その他	1	1
流動負債合計	431	298
固定負債		
リース債務	1	1
退職給付引当金	8	9
資産除去債務	1	1
固定負債合計	12	12
負債合計	443	311
純資産の部		
株主資本		
資本金	77	78
資本剰余金	424	425
利益剰余金	472	421
株主資本合計	975	925
純資産合計	975	925
負債純資産合計	1,418	1,236

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	508
売上原価	336
売上総利益	172
販売費及び一般管理費	239
営業損失(△)	△66
営業外収益	
受取利息	0
その他	0
営業外収益合計	0
経常損失(△)	△66
税引前四半期純損失(△)	△66
法人税等	△23
四半期純損失(△)	△43

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前当期純損失(△)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は業務用食材通販事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。